



青森農研フラッシュ

研究成果

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

冷涼地帯で安定・多収 いもち病の防除不要！ 早生飼料用米新品種 「えみゆたか」

農林総合研究所

「えみゆたか」(旧系統名:「ふ系237号」)は、耐冷性、耐病性に優れる**早生の飼料用米**品種です。「みなゆたか」の栽培が厳しい冷涼地帯での移植栽培や直播栽培に適しています。平成28年2月に**青森県の飼料作物奨励品種に指定**されました。現在、品種登録出願中です。

特 性

※「えみゆたか」の開発は、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」委託事業により取り組みました。

項目	えみゆたか	みなゆたか
出穂期	7月31日	8月3日
成熟期	9月22日	9月25日
倒伏程度(0~5)	1.2	1.3
稈長(cm)	87	88
穂長(cm)	18.5	17.0
穂数(本/㎡)	458	477
粗玄米重(kg/a)	75.3	77.7
同対標準比(%)	97	(100)
耐冷性(極強~極弱)	極強	極強
いもち病抵抗性 抵抗性遺伝子 葉いもち 穂いもち	<i>Pia,i,b (Pi35)</i> 不明 不明	<i>Pii</i> やや強 やや強



「えみゆたか」の標本株

注. 藤坂稲作部(十和田市)における奨励品種決定基本調査(移植栽培・多肥区)の成績(平成25~27年)

- ◆「えみゆたか」は、中生品種「みなゆたか」に比べ、**出穂期が3日早く**、中生地帯では粗玄米収量が並かやや少ない。
- ◆いもち病抵抗性は、**高度いもち病抵抗性遺伝子“Pi35”を保有**するため、**当面いもち病に罹病する可能性は低く、いもち病の防除は不要**である。

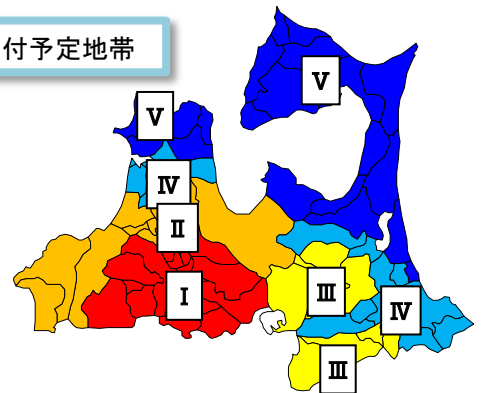
冷涼地帯(三沢市)における乾田直播栽培

項目	えみゆたか	みなゆたか
出穂期	8月12日	8月17日
倒伏程度(0~5)	0	0
全重(kg/a)	141	144
粗玄米重(kg/a)	52.1	43.3
同対標準比(%)	120	(100)

注. 値は平成26~28年の3か年平均値

冷涼地帯の乾田直播栽培では、**出穂期が「みなゆたか」より5日早く、20%多収**だった。

作付予定地帯



移植栽培: 稲作地帯区分 V(県南北東・津軽半島北部)
直播栽培: 稲作地帯区分 I~V(県下全域)

普及見込み

一般栽培は平成29年からで、平成29年が約90ha、平成30年以降は約200haの見込みです。

お問い合わせ

農林総合研究所 藤坂稲作部 (Tel.0176-23-2165)